

沼田城跡の価値

地勢上の要衝にある城

戦国時代には北条氏・上杉氏・武田氏によって争奪が繰り返され、豊臣政権による全国統一のきっかけとなった歴史的な事件「名胡桃城事件」に深く関わりました。戦国時代末期以降は真田氏が治める沼田藩の中心としての役割を果たしました。沼田城跡には複雑な歴史とその痕跡が見られ、地勢上の価値の高さを物語っています。

近世城郭としての姿がよく残されている

沼田城の姿は地下に良好に保存されており、市街地においても堀跡が姿を残しています。また、「正保城絵図」をはじめ数多くの城絵図が残されています。

破城研究の貴重な事例

発掘調査で発見された破城遺構、文献史料「沼田城破却記」、絵図「中根家所蔵 上州沼田城図」を相互に比較研究することができる貴重な事例です。

私たちの沼田城

なくてはならない場所

私たちにとって沼田城跡と沼田公園は、歴史を学び自然に親しむことができる場所として、様々な催し物の会場としてなくてはならない場所です。沼田市を訪れる人にとっては、観光地として、城の姿に思いを馳せる場所として重要です。また、災害等の際にはヘリコプターの発着場や指定緊急避難場所としての役割があります。沼田城跡と沼田公園は、私たちの生活に密着した、なくてはならない場所として機能しています。

沼田城を守り伝える、それが我々の務めじゃ！



もっと詳しく知りたい!

沼田城跡の調査成果を、『沼田城跡 調査総括報告書』『沼田城跡 石垣調査報告書』としてまとめました。沼田市立図書館をはじめ各地区コミュニティセンターでご覧いただけます。概要版である『発掘された真田の城 沼田城跡 3』は歴史資料館、埋蔵文化財調査センター、沼田市観光案内所で無料配布しています。

また、調査の成果はすべてインターネットで公開しています。



(左)調査成果をまとめた報告書、(右上)読みやすくまとめた『発掘された真田の城 沼田城跡 3』、(右)QRコード)沼田城跡の調査成果はインターネットで公開しています

発掘 沼田城かわら版 第3号
発行 令和8年3月1日
沼田市教育委員会文化財保護課
沼田市下之町888 TEL0278-23-2111

発掘

沼田城かわら版

第3号

2026年3月号

真田の城、再発見。

最新の調査成果から

沼田市教育委員会は、平成30年度から令和5年度まで沼田城跡の調査を実施しました。発掘調査をはじめ、測量調査、地中レーダー探査、文献史料調査などを実施し、多くの成果が得られました。「発掘沼田城かわら版 第3号」では、調査成果の概要を紹介します。

地面の下に眠る沼田城、沼田公園はタイムカプセル

沼田城の姿が地下に良好に保存されている

沼田城跡は、市街化や公園整備等により改変されてしまったと考えられていましたが、公園造成土により覆われ、よく保存されている部分もあることがわかりました。市街地では堀跡が姿を残している部分があります。

本丸跡では、公園園路の60cm下に沼田城の地面が眠っているよ。



ユキちゃん

重なる沼田城

沼田城は北条氏・上杉氏・武田氏等により争奪が繰り返された後、真田氏により大規模に整備されました。発掘調査でも、繰り返される整備の痕跡が積み重なっている様子が確認できました。

城郭研究上の貴重な事例

破城遺構の発見

天和2年(1682)に真田信利が改易されたことに伴い、沼田城の主要な施設は破壊されました。このような意図的に行う城の破壊を「破城」と呼びます。発掘調査では、破城の際に本丸堀に投げ捨てられた瓦などが多く出土しました。沼田城の破城については、その経過を記録した文献史料「沼田城破却記」や、破城の場所・方法等を示した絵図「中根家所蔵 上州沼田城図」があり、相互に比較して考えることができる城郭研究上の貴重な事例です。



破城時に投棄された瓦

新発見、沼田城の真実

天守の柱を支えた礎石？を発見

天守台の一部と考えられる盛土と、その上面で天守の柱を支えたと考えられる礎石を発見しました。沼田城跡において、初めての天守に結びつく発見です。さらに、その90cm下からもう一組の盛土と礎石が見つかりました。天守は2時期あり、建て替えられていたことが考古学的に明らかとなった大きな発見です。



発見された礎石と考えられる石

礎石は縦100cm、横80cmの大きさがあるよ。

金箔瓦が出土

瓦の文様部分に金箔を張り付けた金箔瓦が2点確認できました。金箔瓦は政権に近い重要拠点で使用が許された特別な物で、沼田城が重要視されていたことを物語っています。



出土した金箔瓦

金箔瓦は政権中枢に近い戦国大名や、重要な拠点となる城で使われました。

沼田城初期の堀跡を発見

真田氏が沼田城を領有して、最初に整備した堀（馬出堀跡）を発見しました。真田氏による初期の整備の実態を示す発見です。



馬出堀跡

段丘崖に腰曲輪群を発見

北側段丘崖の斜面に、小さな曲輪の集合（腰曲輪群）が存在することが明らかになりました。沼田城が台地上だけでなく、段丘崖を巧みに利用した構造を持っていたことがわかりました。

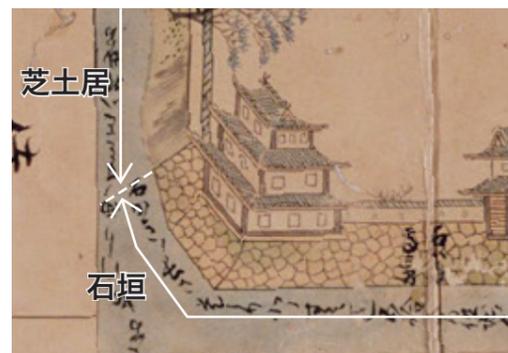
絵図と調査結果が一致!

十人番所か。柱穴跡を発見

本丸跡において「猿ヶ京区有文書 上野国沼田倉内城絵図」や「川場村歴史民俗資料館 沼田城下絵図」に描かれた十人番所のものの可能性がある柱穴跡を発見しました。

石垣と芝土居を確認

本丸南東部の堀の斜面で、石垣と芝土居（斜面に芝を貼ったもの）の境を発見しました。「正保城絵図」の表現が正確であることがわかりました。

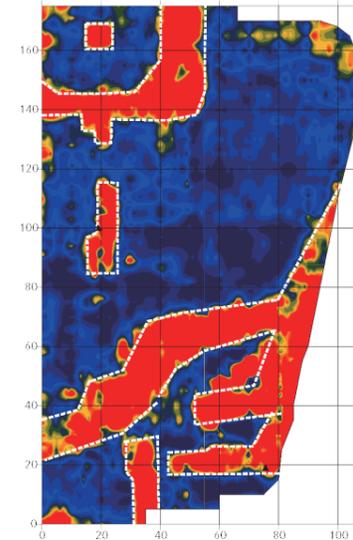


正保城絵図 上野国沼田城絵図
(国立公文書館デジタルアーカイブ)

身近にある沼田城の痕跡、守り伝えたい

クロップマークとして現れる堀跡

電磁波によって地中の状況を探る地中レーダー探査によって、沼田公園グラウンドには二の丸の堀が埋まった状態で保存されていることがわかりました。しかも、この堀跡はクロップマーク（地下の状況が地表面の乾湿に影響し、植物の生育度合いに差が生じて見える模様）として目視できることがわかりました。探査結果がなければ気が付かないようなわずかな痕跡が、実は存在していたのです。このほかにも沼田城の痕跡が私たちの身近にあるかもしれません。



地中レーダー探査の結果
赤い部分が埋まっている堀跡



グラウンドに現れたクロップマーク（令和3年5月撮影）

グラウンドのクロップマークは、初夏の頃に肉眼でも観察できるよ。皆で見に行こう！



森林文化都市キャラクター むまたんち

残された石垣を見守る

沼田城の石垣は、石材の表面積を大きく見せるように積むなど見栄えを重視した構造をしています。横長大型の石材を弧状に積む点も特徴です。

石垣は地震等の自然災害によって変形し崩落することが知られています。沼田城跡の石垣にも変形が見られ、過去に一部を修復しました。沼田城の姿を今に伝える大切な石垣を後世に残すため、注意深く見守っていきたくて考えています。



西櫓台西面石垣

石垣は継続して観察を行っています。



アヒル池の本丸東面石垣